

株式会社 エーワン精密

平成29年6月期決算説明会

平成 29 年 6 月 期 決算説明会資料目次

| | ページ |
|---------------|-----|
| (1) 当社の事業について | |
| 当社の事業展開 | 1 |
| 事業内容・特色 | 2 |
| 自動旋盤用カム部門 | 3 |
| コレットチャック部門 | 4 |
| 切削工具部門 | 5 |
| (2) 決算について | |
| 決算の概要 | 6 |
| 損益の状況 | 7 |
| 財務の状況 | 8 |
| キャッシュ・フローの状況 | 9 |
| (3) 今後の事業展開 | |
| 自動旋盤用カム部門 | 10 |
| コレットチャック部門 | 11 |
| 切削工具部門 | 12 |
| (4) 添付資料 | 13 |

当社の事業展開

経営理念

高品質な製品をより低コスト、短納期で
顧客のニーズに応え製品を提供する

ものづくりに不可欠な工具を扱う

利益を出せる事業を行う

業界のトップを狙える事業を行う

事業内容

自動旋盤用カムの製造・販売（昭和45年～）

コレットチャックの製造・販売（昭和51年～）

切削工具の再研磨及び特殊切削工具の製作（平成11年～）

事業領域

旋盤による旋削加工・フライスによる切削加工に使用される消耗工具に特化

機械により素材を削り出し精密な部品加工する根幹となる製造工程に的を絞っている

工具の中でも使用される状況に応じて種類・形状が多岐に亘り製造に手間のかかる工具

他社との差別化・当社の特色

多品種で手間のかかる工具に1本から高品質・短納期対応する

直販比率が高く製造・販売両面で利益を享受できる

15,000社以上の顧客からリピートオーダーが入る

自動旋盤用カム部門

カム式小型自動旋盤で使用されるカムの設計・製作・販売

- ・同じ部品を大量に効率的に生産できる機械
- ・単品、大量生産部品がアジアなどの海外生産に移行してから機械自体が製造されていない
- ・カム式機械を使用する顧客からの受注に対応

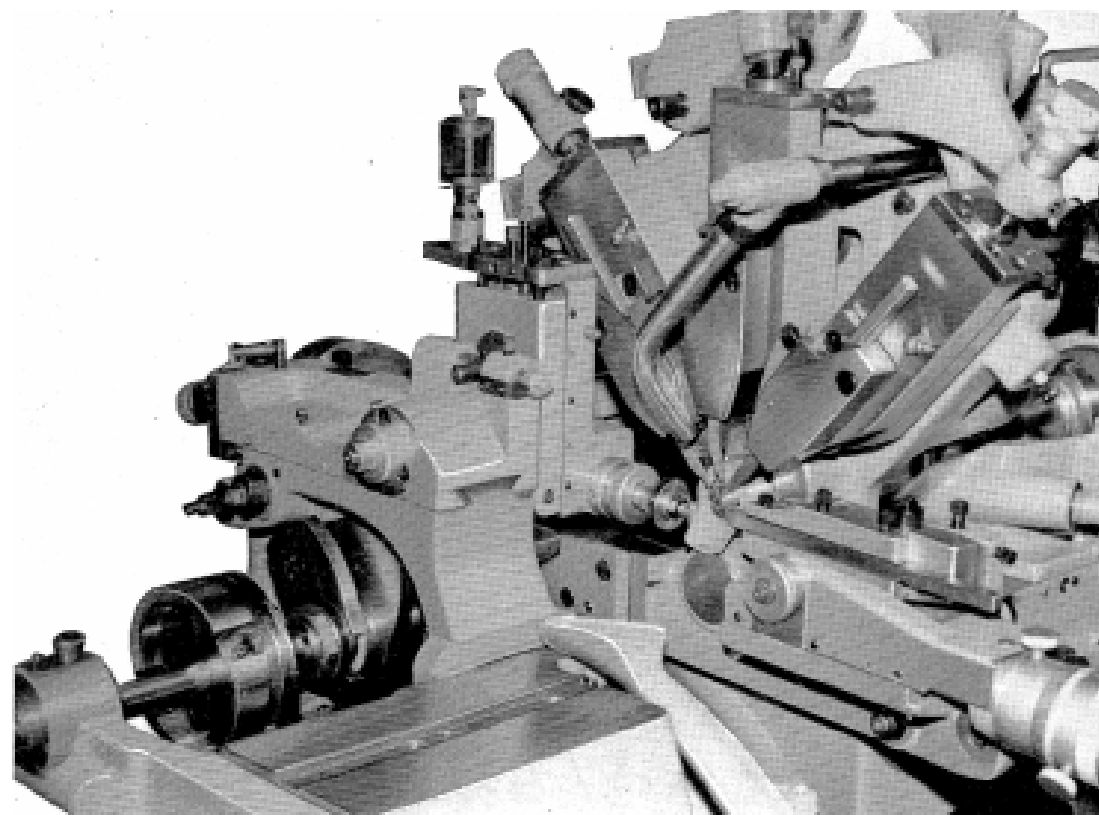
製品写真



カム式自動旋盤(型番: NS - P1053)



カム取付後写真



コレットチャック部門

主に小型自動旋盤で使われるコレットチャックの製造・販売

コレットチャックが主に使われる機械

NC旋盤 2,605億円(2016年生産額) 16,464台

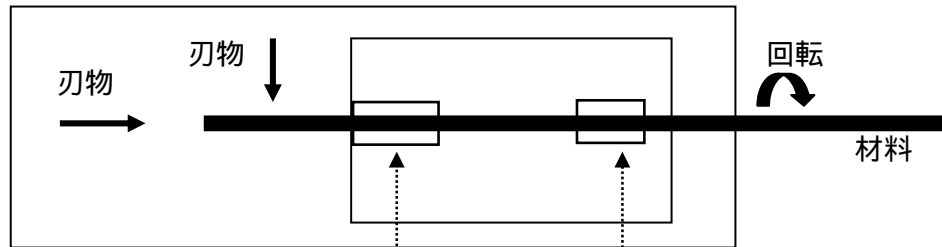
うち 小型CNC自動旋盤約 1,420億円(2016年推定生産額)

主な小型CNC自動旋盤メーカー

シチズンマシナリーミヤノ、スター精密、ツガミ、高松機械

特殊コレットチャック

専用機 848億円(2016年生産額) 3,658台



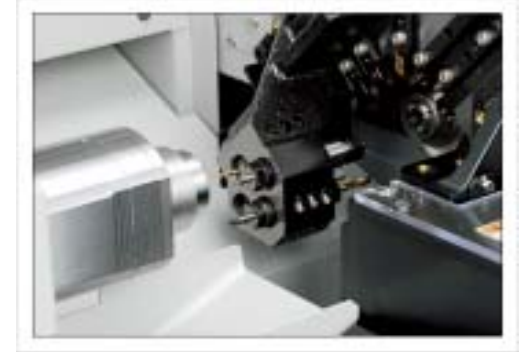
ガイドブッシュ

コレットチャック



加工部品

精密機械、産業機械、電子部品、半導体、自動車、航空機、医療機器など



切削工具部門

金属等の切削部品加工に使用される工具の製作・再研磨

加工のイメージ



主に切削工具を使用する機械

| | | |
|-------------|-------------------|---------|
| マシニングセンター | 2,073億円(2016年生産額) | 22,065台 |
| NCフライス、中ぐり盤 | 179億円(2016年生産額) | 906台 |

使用される工具

| | |
|---------|-----------------|
| 超硬エンドミル | 491億円(2016年生産額) |
| 超硬ドリル | 357億円(2016年生産額) |
| その他超硬工具 | 361億円(2016年生産額) |

主なマシニングセンターメーカー

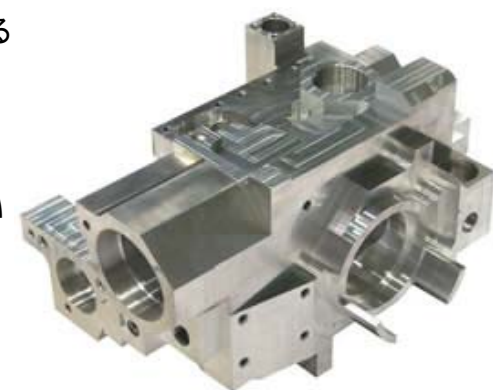
オークマ、ヤマザキマザック、森精機、牧野フライス
キタムラ機械、安田工業、松浦機械、東芝機械
三井精機、三菱重工など

- ・材料を固定し、切削工具が回転して材料を切削して部品形状を作る
- ・小物から大物まであらゆる部品加工に使用される
- ・ロットのある部品の場合、特殊切削工具で量産加工することが多い

加工部品

一般機械、自動車、精密機器、電子部品、航空機、金型

加工部品のイメージ



平成 29年 6 月期 決算概要

| | |
|----|---|
| 売上 | 国内製造業は、量産品でも高付加価値、高難易度の加工、他は多品種小中ロットの加工が中心となっている。 それを反映して当社の受注も顧客ごとのオーダー品、標準品に手を加えたセミオーダー品の比率が増えてきている。 全社売上はほぼ前期並みとなった。 |
| 原価 | 建物付属設備の減価償却が進み、固定費減少。 |
| 利益 | オーダー品による粗利が若干上昇、固定費減少により利益率は改善。 |

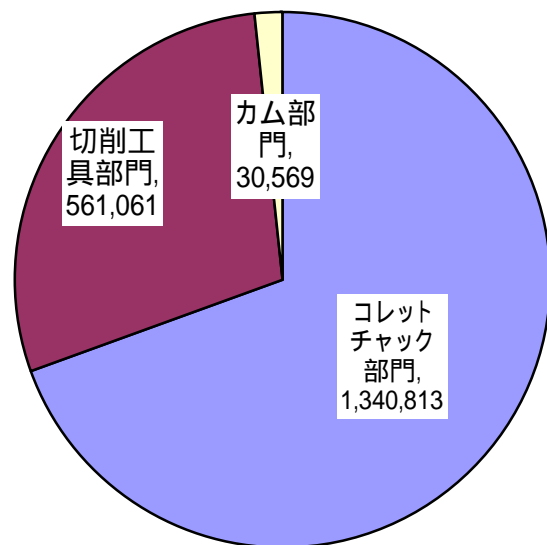
人件費

| | (千円) | |
|-----------|---------|---------|
| | 26期 | 27期 |
| 労 務 費 | 764,026 | 763,049 |
| コストに占める比率 | 54.6% | 55.6% |

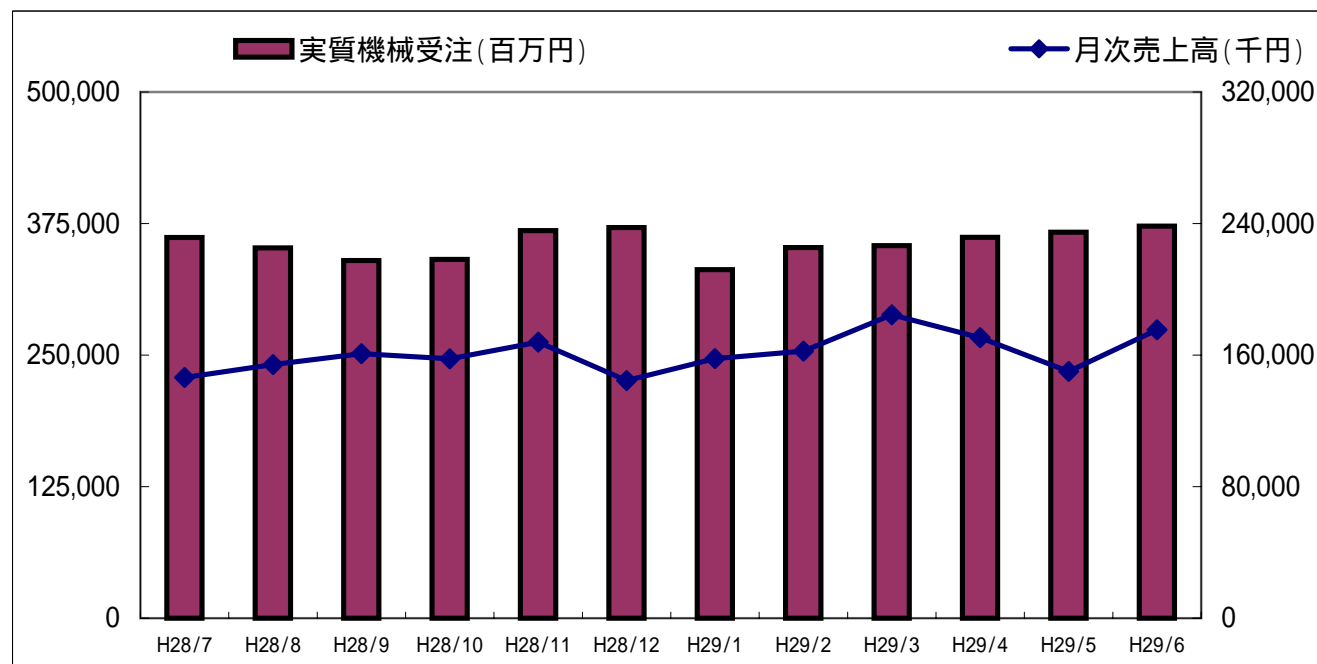
設備投資額と減価償却費

| | (千円) | | |
|-------|---------|---------|---------|
| | 25期 | 26期 | 27期 |
| 設備投資額 | 107,982 | 98,321 | 222,346 |
| 減価償却費 | 212,072 | 195,071 | 181,786 |

部門別売上構成比(千円)



実質機械受注と月次売上高



平成 29年 6 月期 損益の状況

(単位：千円)

| | 平成 28 年 6 月期 | | | 平成 29 年 6 月期 | | | 増減要因 |
|------------|--------------|--------|--------|--------------|--------|--------|--|
| | | 売上構成比 | 前年同期比 | | 売上構成比 | 前年同期比 | |
| 売上高 | | | | | | | |
| コレットチャック | 1,333,928 | 69.3% | 100.9% | 1,340,813 | 69.4% | 100.5% | ・オーダー品は堅調で標準品は横ばい。CNC自動旋盤による精密部品加工は一定の受注を確保。 |
| 切削工具 | 555,941 | 28.9% | 99.8% | 561,061 | 29.0% | 100.9% | ・特殊切削工具製造が増加傾向に粗利改善と減価償却費の減少で利益率上昇、再研磨は減少し売上は微増に留まる。 |
| 自動旋盤用カム | 36,082 | 1.8% | 86.6% | 30,569 | 1.6% | 84.7% | ・カム式自動旋盤の需要が減り、売上減少。 |
| 合計 | 1,925,952 | 100.0% | 100.3% | 1,932,444 | 100.0% | 100.3% | |
| 売上原価 | 1,101,181 | 57.2% | 98.4% | 1,081,286 | 56.0% | 98.2% | 人件費横ばい、減価償却費は減少。 |
| 売上総利益 | 824,770 | 42.8% | 103.0% | 851,157 | 44.0% | 103.2% | |
| 販売費及び一般管理費 | 297,903 | 15.5% | 99.3% | 290,802 | 15.0% | 97.6% | |
| 営業利益 | 526,866 | 27.3% | 105.1% | 560,355 | 29.0% | 106.4% | 利益率はやや改善。 |
| 経常利益 | 544,808 | 28.3% | 108.2% | 578,819 | 30.0% | 106.2% | |
| 当期純利益 | 561,834 | 29.2% | 125.7% | 394,720 | 20.4% | 70.3% | 過年度の投資有価証券売却益がなくなり、減益。 |

平成 29年 6 月期 財務の状況

(単位：千円)

| 事業年度 資 産 | 平成28年6月期 | | 平成29年6月期 | | 増 減 要 因 |
|------------------|------------------|---------------|------------------|---------------|----------------------------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | |
| 現預金 | 4,792,257 | 59.4% | 6,036,591 | 72.9% | 長期定期預金を短期に振替え、増加。 |
| 売上債権 | 437,397 | 5.4% | 425,286 | 5.1% | |
| 棚卸資産 | 185,964 | 2.3% | 199,357 | 2.4% | セミオーダー品対応のため在庫品番を増加した。 |
| その他流動資産 | 24,932 | 0.3% | 16,513 | 0.2% | |
| 固定資産 | 2,630,688 | 32.6% | 1,610,610 | 19.4% | 長期定期預金を短期に振替え、減少。 |
| 資 産 合 計 | 8,071,240 | 100.0% | 8,288,360 | 100.0% | |
| 負 債 ・ 資 本 | | | | | |
| 買入債務 | 16,012 | 0.2% | 16,135 | 0.2% | |
| その他流動負債 | 291,406 | 3.6% | 197,311 | 2.4% | 投資有価証券売却益がなくなった分未払法人税等が減少。 |
| 固定負債 | 424,958 | 5.3% | 423,039 | 5.1% | |
| 負 債 合 計 | 732,377 | 9.1% | 636,486 | 7.7% | |
| 純資産合計 | 7,338,862 | 90.9% | 7,651,873 | 92.3% | |
| 負債・純資産合計 | 8,071,240 | 100.0% | 8,288,360 | 100.0% | |

平成 29年 6 月期 キャッシュ・フローの状況

(単位：千円)

| | 平成28年6月期 | 平成29年6月期 | 対前年比増減額 | 増 減 要 因 |
|------------------|----------|----------|---------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 471,938 | 485,297 | 13,358 | 主な増加要因：税引前当期純利益 578,797千円 主な減少要因：法人税等の支払額 262,623千円 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 132,115 | 223,339 | 91,224 | 主な減少要因：有形固定資産の取得による支出 222,346千円 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 108,481 | 119,647 | 11,166 | 配当金の支払額：119,647千円 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 231,342 | 142,310 | 89,032 | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 459,163 | 601,473 | 142,310 | |

今後の事業展開 ~ 自動旋盤用カム部門

事業展開

カム式自動旋盤(すでに製造中止)は単品大量生産向きで少量ながらカムの需要は継続
将来的には減少傾向

競合状況

3千5百万円弱の市場規模で既存の中小企業が継続している

当社の事業展開

既存の償却済設備と現状の人員で対応
低コスト製造を徹底

今後の事業展開 ~ コレットチャック部門



小型CNC自動旋盤用コレットチャック

推定市場規模 25 ~ 30億円

メーカー 4社程度

その他 専用機コレットチャック

メーカー 3、4社程度

<今後の方向性>

小型精密部品分野では今のところ代替する加工方法は少ない(コスト、時間などを考慮して)
世界的に小型精密部品に要求される精度、加工難易度は厳しくなる傾向
大量生産品と多品種小中ロット品に二極化している

<国内の状況>

CNC自動旋盤 シチズンマシナリー、スター精密、ツガミ3社で世界の大半を占めている
国内で推定 12 ~ 13万台の機械が稼働している
加工ノウハウ、使用工具の工夫で日本企業の競争力は高い

<当社の対応>

加工部品に合わせた顧客ごとのオーダー品のコレットチャック対応
増大する高精度コレットチャック需要に対応した設備・人材の確保・拡充
専用機用コレットチャック対応力を高める

今後の事業展開 ~ 切削工具部門

| 対象企業 | 主要加工内容 | 切削工具の状況 | | 当社の受注 | 競合状況 |
|---|---------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|-------|--|
| 大手メーカー 自動車・重電・航空機など 100社程度 | 量産部品加工 小ロット大物加工 | 切削工具内製、外部購入(工具商社経由) 社内再研磨、メーカー再研磨 | | × | 内製、グループ会社 切削工具メーカー |
| 準大手・中堅メーカー 従業者100名以上 13,000社程度 | 量産部品加工 | 市販切削工具 特注切削工具 | 再研磨外注 外部購入 | | 再研磨会社 150社程 全国規模 4~5社 地域型、個人経営 工具商社系 |
| 中小加工企業 18万社程度 | 単品加工 設備・治具、金型 小中ロット加工 | 市販切削工具 市販切削工具 特注切削工具 | 再研磨外注 再研磨外注 外部購入 | | 特注切削工具 大手メーカー 10社程度 中小規模メーカー 数十社 |

< 市販切削工具の例 > 再研磨

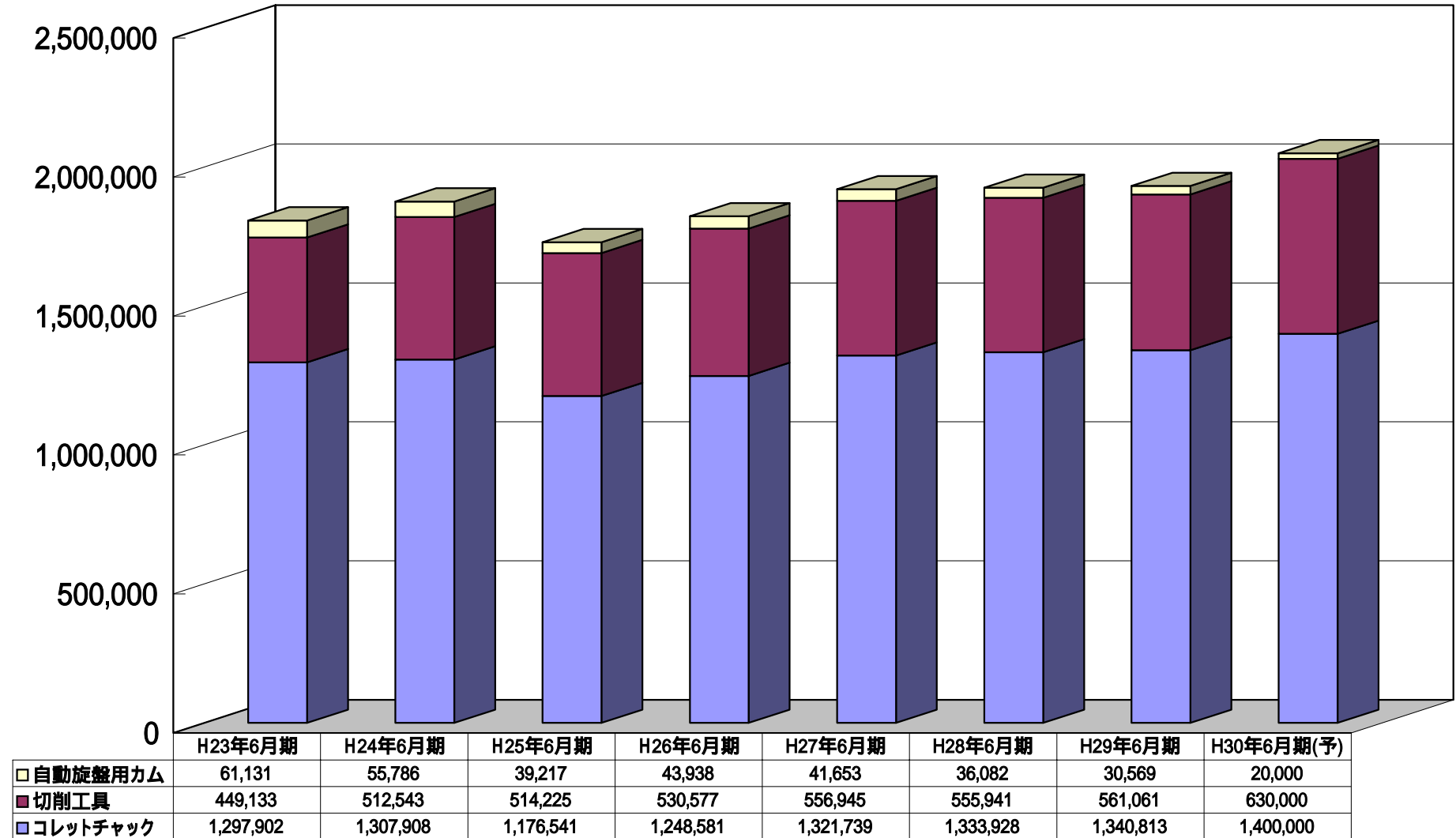


< 特注切削工具の例 > 製作および再研磨



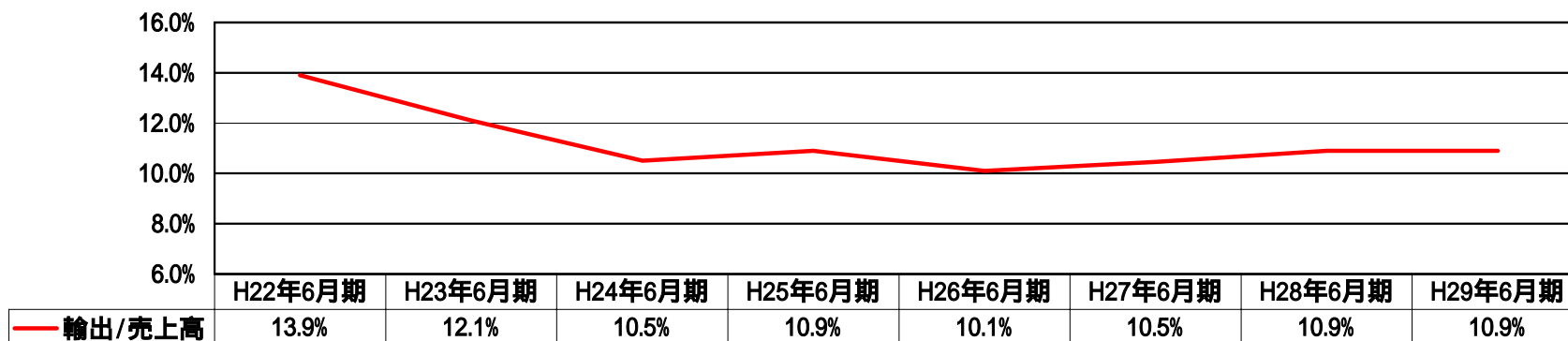
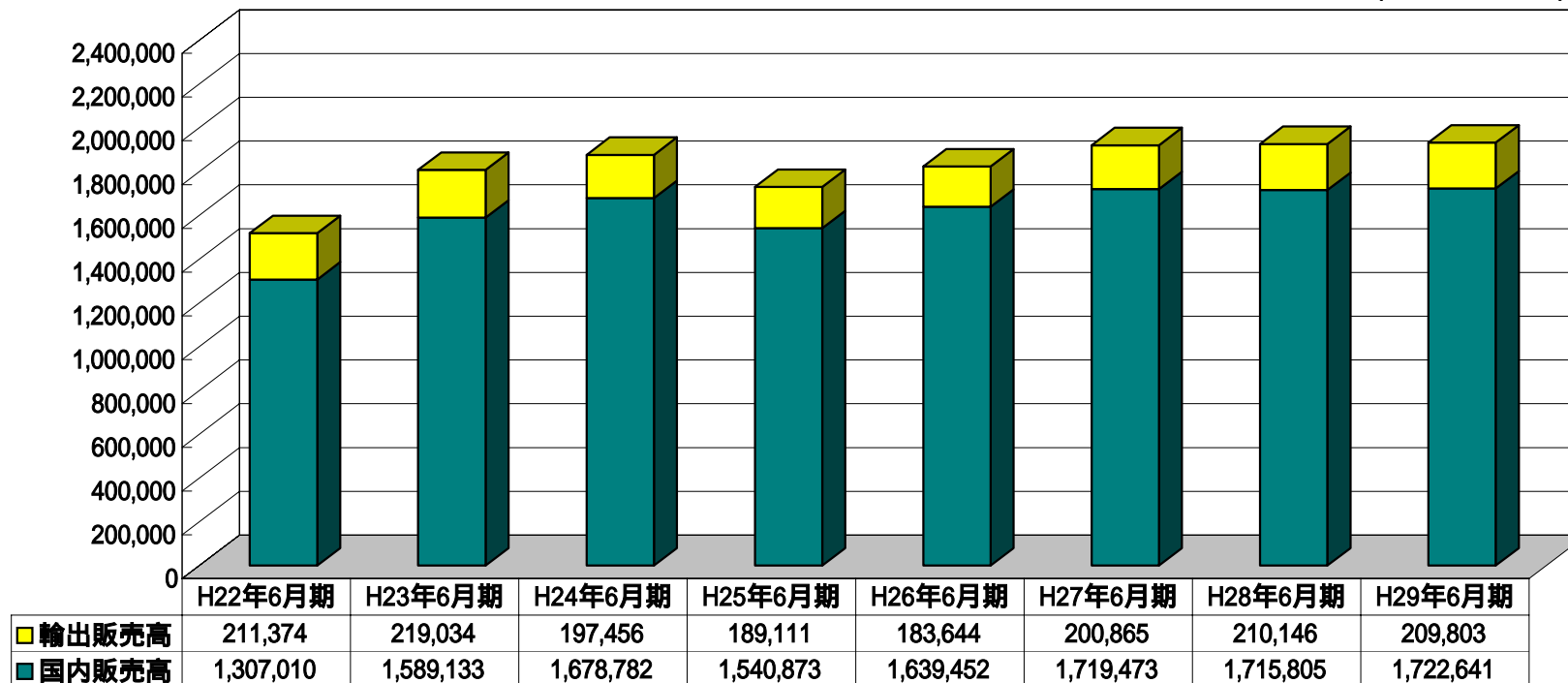
部門別売上状況

(単位：千円)



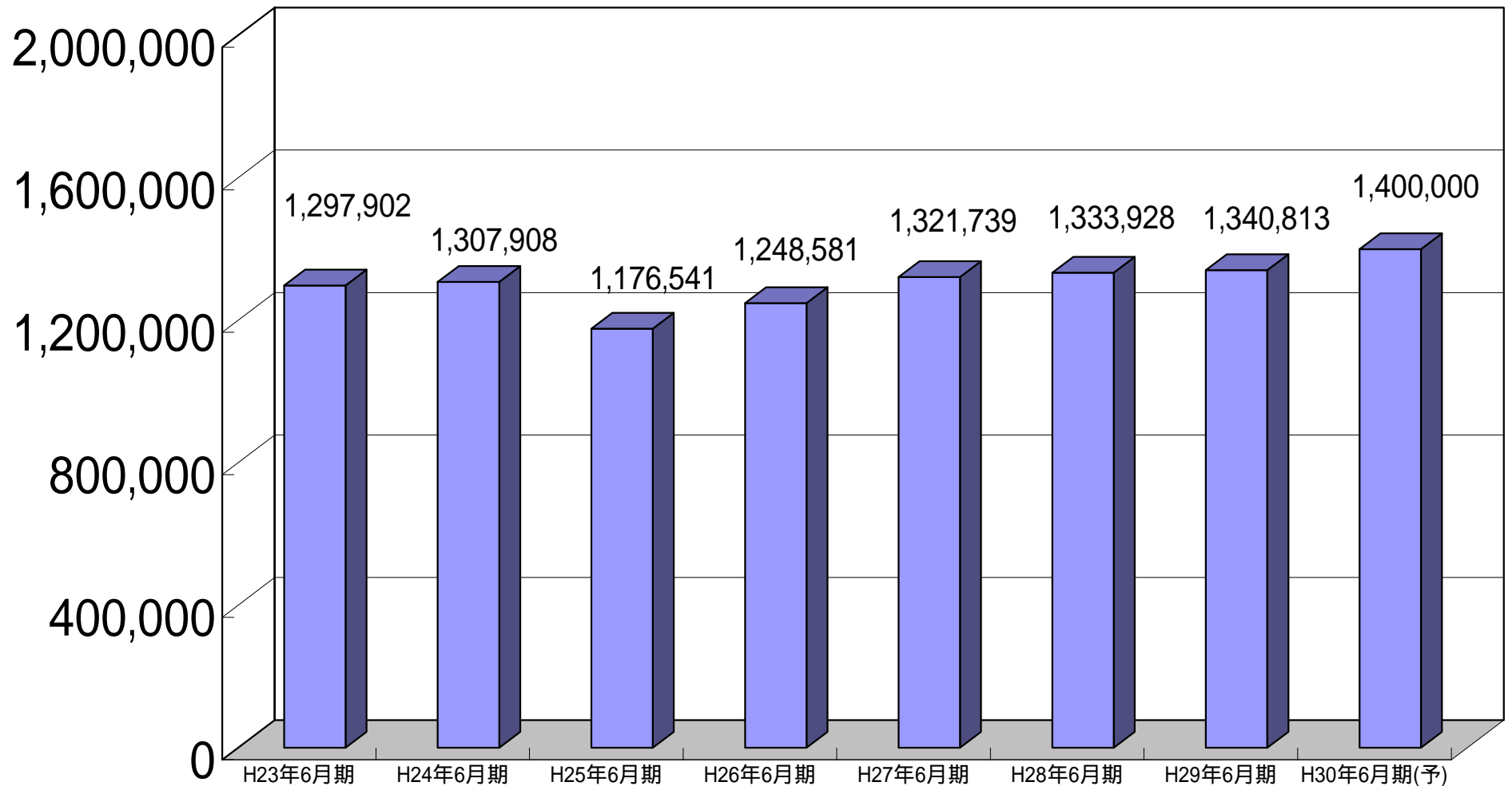
輸出売上状況

(単位：千円)



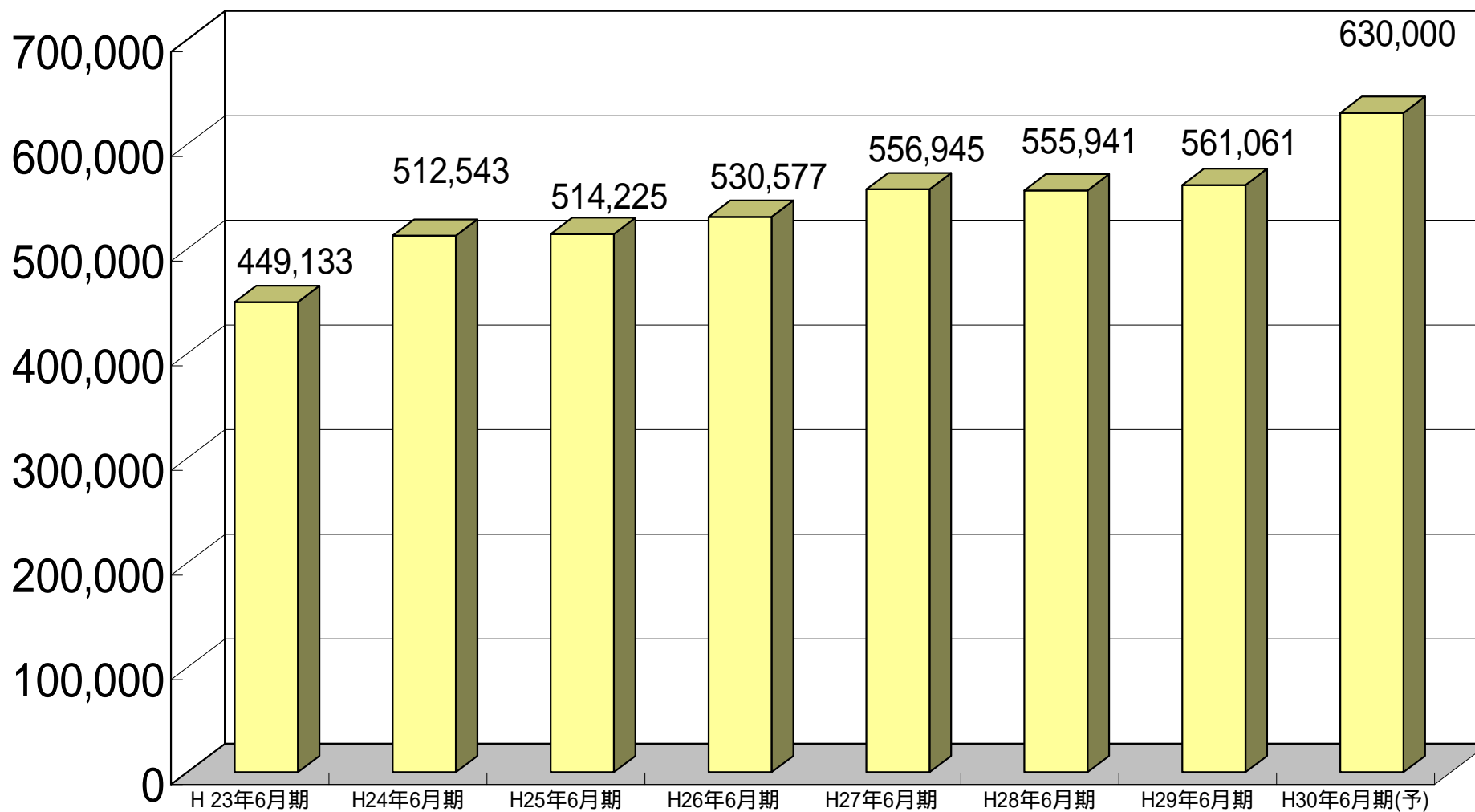
部門別状況 ~ コレットチャック部門

売上高(単位:千円)



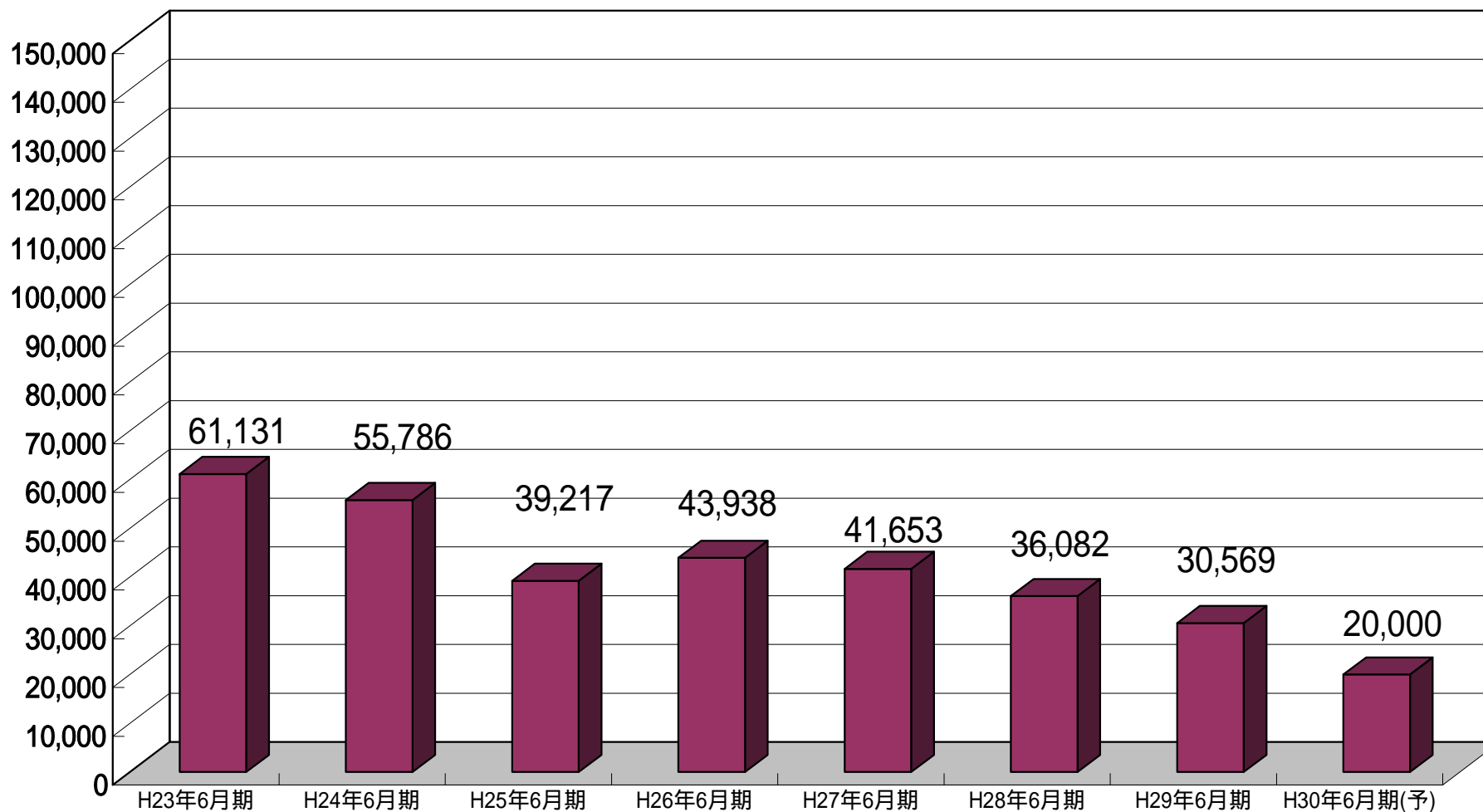
部門別状況 ~ 切削工具部門

売上高(単位:千円)



部門別状況 ~ 自動旋盤用カム部門

売上高(単位:千円)



設備投資と減価償却

| | H25年6月期 | H26年6月期 | H27年6月期 | H28年6月期 | H29年6月期 |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 設備投資額 (単位:千円) | 73,405 | 140,894 | 107,982 | 98,321 | 222,346 |

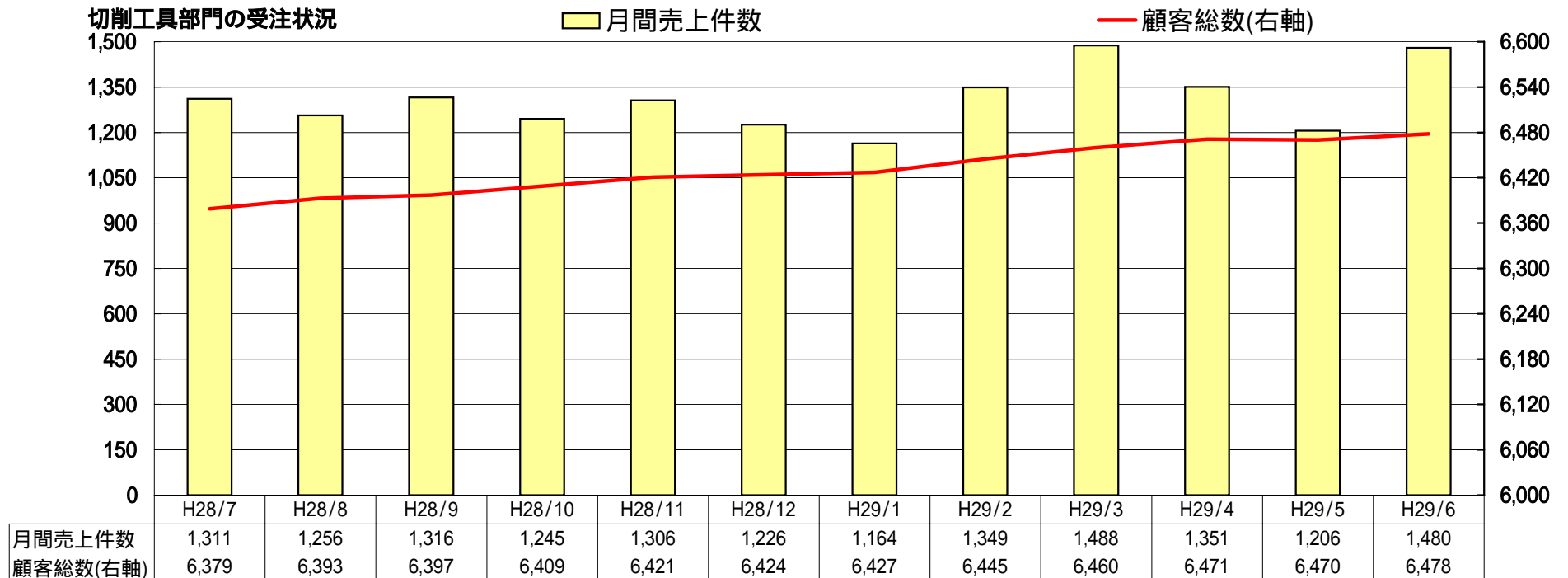
| | H25年6月期 | H26年6月期 | H27年6月期 | H28年6月期 | H29年6月期 |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 減価償却費 (単位:千円) | 278,748 | 239,231 | 212,072 | 195,071 | 181,786 |

切削工具部門の戦略と受注状況

受注体制(人材、設備、社内オペレーション)を万全にする

新規設備導入により特殊ものへの対応を強化する

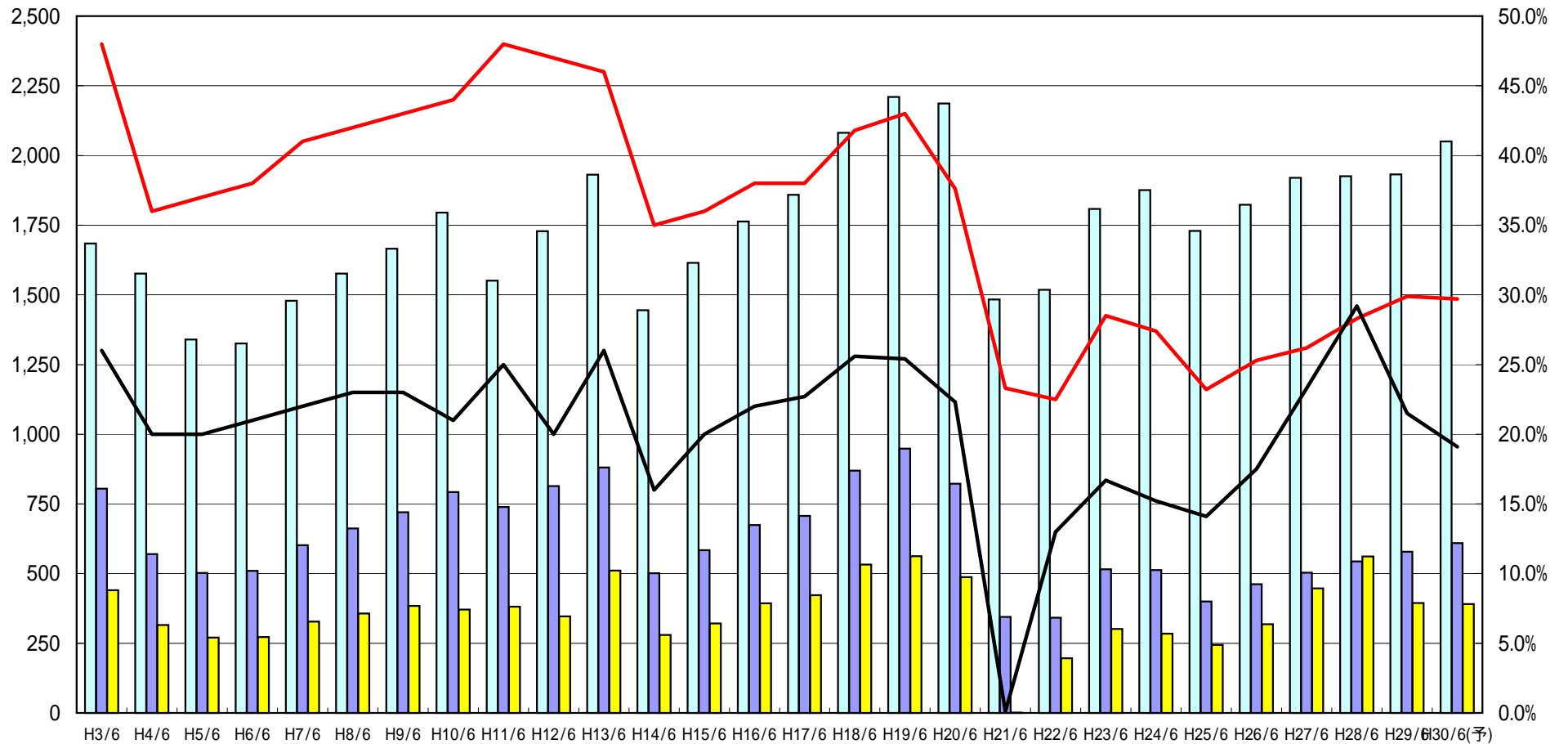
営業地域拡大し認知度向上と地域浸透度を高める



業績の推移

■ 売上高
 ■ 経常利益
 ■ 当期純利益
 — 売上高経常利益率
 — 売上高当期純利益率

単位: 百万円



実質機械受注と月次売上高

